

腸チフスの発生について(週報)

平成30年10月23日(火) 15:00

北海道千歳保健所
(北海道石狩振興局保健環境部千歳地域保健室)
TEL: 0123-23-3175 FAX: 0123-23-3177

平成30年41週(10月8日(月)～10月14日(日))に、千歳保健所管内で腸チフスが発生したのでお知らせします。

記

1 発生の探知

10月9日(火)に、千歳保健所管内の医療機関から、腸チフスの患者1名が発生した旨、同保健所に届出があった。

2 発生の概要

千歳保健所管内の女性(10歳代)1名が、10月2日から発熱、頭痛症状を呈し、同保健所管内の医療機関を受診し、入院・検査・治療を受けた。

3 現在の状況

10月23日(火)現在、入院中であるが快方に向かっている。

4 経過

10月 2日(火) 頭痛、発熱症状出現
3日(水) A医療機関を受診し、治療の実施
8日(月) B医療機関を受診し、入院、検査、治療の実施
9日(火) B医療機関より腸チフス感染症の患者発生届を受理

※ 患者は6月下旬からバリ島、シンガポールへの渡航歴がある。

5 感染経路

現在調査中

6 対応

- ・ 家族等の健康調査
- ・ 患者及び家族等の喫食調査
- ・ 家庭等における手洗い、うがいの励行及び消毒等の清潔保持の指導

7 その他

この件については、本日15時00分、北海道保健福祉部健康安全局地域保健課においても資料配付を行っています。

報道に当たっては、個人のプライバシー保護のため、特段の御配慮をお願いします。

腸チフスとは

区分: *Salmonella enterica* subsp. *enterica* serovar *Typhi* による感染症で、一般的なサルモネラ感染症とは区別され、三類感染症に指定されている。

症状: 7～14日の潜伏期間の後に、頭痛、発熱、悪寒、倦怠感、食欲不振、バラ疹、脾腫、除脈など

感染経路: 患者・保菌者の便や尿が感染源となり、食品や飲料水を介して感染することもある

予防方法: 手洗い、食品の十分な加熱調理、不衛生な水や食品を口にしない

疫学: 日本を除く南アジア、東南アジア、インド亜大陸、中東、東欧、中南米、アフリカなどにまん延している。国内の発生のほとんどは、海外からの輸入事例である。

腸チフスの発生状況

平成20年～平成30年10月23日(火)現在

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
北海道	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
全国	57	29	32	21	36	65	53	37	52	37	29

(単位:人)

* 全道・全国の発生状況については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。(http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html)